

第4章 基本理念・基本目標

1 「地域福祉」とは

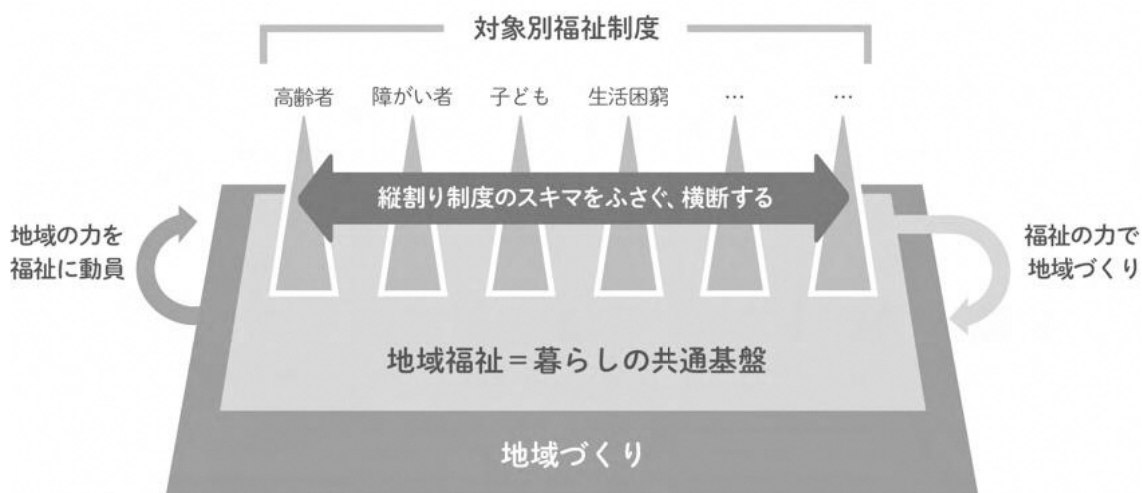
「地域福祉」には2つの役割があります。

福祉分野では、対象者別に制度が組み立てられているため、その狭間にいる人や、既存の制度に結びついていない人たちもいます。こうした人たちを見つけたり、必要な支援につないだりしていくためには、分野間で連動して取り組む必要があります。

このことから、縦割りの「制度間をつなぐ」ことが「地域福祉」の大きな役割の一つです。

また、地域をフィールドとしている活動主体（地域自治組織、町内会・自治会等、PTA、NPOなど）の強みやそれぞれが持つネットワーク機能と連動しながら、地域が抱える福祉的な問題の解決を通じて地域づくりを進めたり、地域の力を生かしながら、福祉の取組を進めたりしていくことで、相乗効果が生まれます。

このことから、「福祉と地域づくりをつなぎ、市民のさまざまな活動を通じて、幅広い地域づくりに連動させる」ことも「地域福祉」の大切な役割です。



【図：地域福祉と分野別制度、地域づくり（日本大学文理学部 諏訪徹教授資料参考）】

2 基本理念

第2期計画の基本理念である「つながりあい 一人ひとりが 自分らしく暮らせるまち はつかいち」の趣旨を引き継ぎ、第6次廿日市市総合計画に掲げるまちづくりの基本理念である「市民一人ひとりが幸せに暮らせるまちづくり」を踏まえ、本計画の基本理念を次のとおり定めます。

誰もが つながり合い
一人ひとりが 幸せを感じながら暮らせる
多様な選択ができるまち

大切にしたいこと(キーワード)
多様性の理解 / 誰にでもFitする(あてはまる、適合する)
選択できる / つながる幸せ

基本理念への思い

「住み慣れた地域で安心して暮らしたい」という願いは誰も同じです。

しかし、健康であり続け、これまでと同じ暮らしを続けていくことができる保障はありません。

年齢を重ね、外出する機会が減り、地域にかかわる機会が少なくなる人、子育てや介護、治療などを理由に働くことができなくなる人、障がいのある子どもを持つ親の高齢化など、本市においても、今まで表面化していなかった課題が少しずつ顕在化してきました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響から、「新しい生活様式」が求められるようになったことで、対面でのコミュニケーションにはさまざまな制約が付きまとい、これまでのつながりの形が変わりつつあります。

こうした状況の中でも、さまざまな特性や資源にあふれたそれぞれの地域で、福祉、介護、医療の分野はもちろんのこと、産業、就労、防犯、防災、交通、住まいなど、福祉の領域を超えた分野とも結び付き、お互いが協力し合いながら、本市に暮らすすべての人が「つながり」や「幸せ」を実感し、自らの希望を選択できる社会を実現していくことができるまちをつくりたい、という思いを込めて、基本理念を設定しています。

3 施策体系図

基本理念

誰もが つながり合い 一人ひとりが
幸せを感じながら暮らせる 多様な選択ができるまち

基本目標・行動目標

基本目標 1 多様性を受け入れる「ふくし文化」の創出

行動目標 1 市民が日常的に多様性を「知る」、「触れる」機会をつくります

行動目標 2 誰もが地域社会と「つながる」さまざまな接点をつくります

基本目標 2 つながりの礎となる日々の暮らしの再考

行動目標 3 市民一人ひとりの暮らしから地域福祉を始めます

行動目標 4 ご近所の日常的なコミュニケーションを促します

基本目標 3 暮らしを守る安心・安全のセーフティネット構築

行動目標 5 誰もが地域福祉活動に参加しやすい環境をつくります

行動目標 6 市民の暮らしと命を守るための備えを進めます

行動目標 7 未来を見据えた地域福祉活動を促します

基本目標 4 多様な選択肢を生み出す新しい支え合いの成熟

行動目標 8 地域福祉の推進にかかわるさまざまな主体を発掘します

行動目標 9 多様な主体の対話と連携を進めます

行動目標 10 暮らしを支えるさまざまな社会資源を創り出します

協働プロジェクト(横断的取組)

協働プロジェクトI 包括的な支援体制の構築

協働プロジェクトII 避難支援活動の実践支援と庁内連携体制の構築

成年後見制度利用促進(廿日市市成年後見制度利用促進計画)

再犯防止・更生支援(廿日市市再犯防止推進計画)

基本目標1、基本目標2は、すべての前提となる多様性の理解や、自分の身の回りの範囲でのかかわりを見つめ直すことなど、一人ひとりの意識が変わらなければ、地域共生社会の実現にはつながらないことや、新型コロナウイルス感染症の影響から、身近な範囲の関係性の価値が再確認されたことから設定しました。

基本目標3、基本目標4は、第2期計画の方向性を引き継ぎ、地域福祉推進の基礎となる地域づくり活動や担い手育成、多様な主体の連携などをさらに促進させようとするものです。